

少し雨の勢いが弱まったために

彼は傘を下ろしそれを垣間見てしまったのだ

少し緑がかった夜空とそれを囲む黒色の雲

すなわち王の御姿を

だが彼は足元から目を離したために

躓き、海に身を投げ、鳥に啄まれる

それは季節通りに荘厳に巡行する無色服の王

虚弱で散漫な者に警戒的な死をもたらす